

| 学習指導要領 | | スタンダード「基礎」 |
|--------|--|--|
| 聞くこと | ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> 相づちを打ったり、聞き直したりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。 聞き取れない単語や未知の語句があっても、絵や図を参考にして、内容を推測するなどして聞き続けることができる。 事物に対する紹介や対話などを聞いて、大きなテーマや概要を捉えて、聞き続けることができる。 英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。 会話文などにおける基本的な定型表現（挨拶、道案内など）を聞いて理解することができる。 場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。 単語の発音の特徴や、基本的な文章のリズムやイントネーション（文全体に及ぶ声の高さの変動）を捉えて聞くことができる。 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。 |
| 読むこと | イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 | <ul style="list-style-type: none"> 英和辞典を正しく使いながら、200～300語程度の教科書の文章を読んで、概要や要点を捉えることができる。 教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、絵や図などを参考にして、推測しながら読み続けることができる。 教科書の文章の単語の発音に気を付けて、聞き手に伝わるように音読することができる。 教科書の文章を、フレーズ毎に、適切な速度と音量で音読することができる。 教科書の文章を読んで、つながりを示す基本的な語句の知識に注意しながら、英語の論理展開 |

| スタンダード「応用」 | スタンダード「発展」 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 相づちを打ったり、繰り返しや説明を求めたりしながら、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。 聞き取れない単語や未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、内容を推測するなどして聞き続けることができる。 事物に対する紹介や対話などを聞いて、メモを取るなどして、聞き続けることができる。 5～6文のややまとまった長さの文章について、情報や考え、事実と意見を区別し、整理しながら聞くことができる。 英語による指示や言い換えられた文章を聞いて理解することができる。 場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。 リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちを捉え、音のつながりや欠落に注意して的確に聞くことができる。 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> 相づちを打ったり、繰り返しや説明を求めたり、言い換えて確認したりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。 聞き取れない単語や未知の語句があっても、つながりを示す語句（according to, as a result, however, in other words, on the other handなど）に注意しながら、内容を推測するなどして聞き続けることができる。 事物に対する紹介や対話などを聞いて、箇条書きでメモを取るなどして情報を整理したり、展開を予想したりするなどして、聞き続けることができる。 複数の段落のまとまった長さの文章について、情報や考え、事実と意見を区別し、整理しながら聞くことができる。 英語による説明や意見を聞いて理解することができる。 場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。 リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちを捉え、音のつながりや欠落に注意して的確に聞くことができる。 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 自発的に英和辞典を活用しながら、300～600語程度の教科書の文章を読んで、概要や要点を捉えることができる。 教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、推測しながら読み続けることができる。 教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに気を付けて、聞き手に伝わるように明瞭に音読することができる。 教科書の文章を、センテンス毎に、適切な速度と音量で音読することができる。 教科書の文章を読んで、つながりを示す語句の知識に注意しながら、英語の論理展開を理解す | <ul style="list-style-type: none"> 自発的に英和辞典を活用しながら、600語程度以上の教科書の文章を読んで、概要や要点を捉えることができる。 教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、論理展開を考えて、推測しながら読み続けることができる。 教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに気を付けて、聞き手に的確に伝わるように明瞭に音読することができる。 教科書の文章全体を、適切な速度と音量で音読することができる。 教科書の文章を読んで、つながりを示す語句の知識に注意しながら、英語の論理展開を理解す |

| 学習指導要領 | スタンダード「基礎」 |
|---|---|
| <p>話すこと</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> | <p>を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の文章を読んで、事実と意見などを区別して内容を理解し、自分なりの意見や感想を日本語や英語で交換することができる。 教科書の文章の段落の中で、トピック・センテンスとサポーター・センテンスの関係を理解する。 身近な話題（例えばスポーツ、文化など）についての文章を読み取るための語句や、文法事項を理解する。 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。 英語で書かれた短い手紙や電子メールのメッセージを読むことができる。 1年間に、サイドリーダーを1冊以上読む。 <p>・200～300語程度の教科書の文章の内容を理解した後に、簡単な英語の質問を聞いて、YES/NO又は単語や語句を用いて答えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることについて、ワークシートやメモなどを利用して、英語で相手に伝えることができる。 ペアやグループで、身近な話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 <ul style="list-style-type: none"> うまく言えないことがあっても、簡単な表現やジェスチャーなどを用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。 単語の発音や基本的な文章のリズムやイントネーションに気を付けて、十分な声の大きさと話すことができる。 <ul style="list-style-type: none"> 挨拶や身近な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。 |

| スタンダード「応用」 | スタンダード「発展」 |
|---|---|
| <p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の文章を読んで、事実と意見などを区別して内容を理解し、自分なりの意見や感想を英語で交換することができる。 教科書の文章の段落の中で、トピック・センテンスとサポーター・センテンスの関係を理解し、各段落の役割と文章全体の流れを理解する。 幅広い話題（例えば異文化理解、環境問題など）についての文章を読み取るための語句や、文法事項を理解する。 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。 英語学習者向けの英字新聞や雑誌、インターネット上の記事を読んで、概要を理解する。 1年間に、サイドリーダーを2冊以上読む。 <p>・300～600語程度の教科書の文章の内容を理解した後に、英語の質問を聞いて、文章で答えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることについて、既習の語句や表現を活用して、ワークシートやメモなどを利用して、英語で相手に伝えることができる。 ペアやグループで、幅広い話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 <ul style="list-style-type: none"> うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。 単語の発音に気を付けながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、リズムやイントネーションを意識して、十分な声の大きさ、適切な速度で話すことができる。 日常生活の様々な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。 | <p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書及びサイドリーダーなどの文章を読んで、事実と意見などを区別して内容を理解し、自分なりの意見や感想を論理的に英語で交換することができる。 教科書の文章の段落の中で、トピック・センテンスとサポーター・センテンスの関係を理解し、各段落の役割と文章全体の流れを理解する。 抽象的な内容（例えば言語の多様性、生命倫理など）を含む文章を読み取るための語句や、文法事項を理解する。 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。 英字新聞やインターネットを活用し、必要な情報を読み取ることができる。 1年間に、サイドリーダーを3冊以上読む。 <p>・600語程度以上の教科書の文章の内容を理解した後に、英語の質問を聞いて、根拠を示しながら文章で答えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書で扱った内容について、既習の語句や表現を応用して、ワークシートやメモなどを利用して、その概要を英語で相手に伝えることができる。 ペアやグループで、幅広い話題について、学んだことや経験したことに基づき、根拠を示しながら話し合ったり意見を交換したりすることができる。 <ul style="list-style-type: none"> うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を効果的に用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。 単語の発音に気を付けながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、適切なリズムやイントネーションを用い、十分な声の大きさ、適切な速度で積極的に話すことができる。 話し合いや発表で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。 |

| 学習指導要領 | スタンダード「基礎」 |
|---|--|
| <p>書くこと</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ準備した絵や写真を使って、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・事実と意見などを区別して、話すことができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。 ・既習の語句や表現、文法事項を活用して、間違うことを恐れずに、学んだことや経験したことに基づき、身近な話題について 20 語程度の文章を書くことができる。 ・教科書の文章について、ワークシートなどを用いて要約文を完成させることができる。 ・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、20 語程度で感想や意見を書くことができる。 ・教科書の文章のキーワードやトピック・センテンスを書き出すことができる。 ・手紙や電子メールの書き方などの基本的な知識を身に付け、自分の意思を伝えることができる。 ・事実と意見などを区別して、基礎的な表現を用いて書くことができる。 ・自分で書いた文章を読み直し、語句や文法などの誤りを正して、読み手に分かりやすい文章を書くことができる。 ・うまく表現できないことがあっても、平易な語句や表現を用いて書くことができる。 ・必要に応じて英和辞書などを活用して書く。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。 |

| スタンダード「応用」 | スタンダード「発展」 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・図やグラフなどの資料を使って、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・事実と意見などを区別して、既習の表現を活用して話すことができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。 ・既習の語句や表現、文法事項を活用して、間違うことを恐れずに、学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について 40 語程度の文章を書くことができる。 ・教科書の文章について、パートごとに、2～3 文程度の要約文を書くことができる。 ・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、40 語程度で感想や意見を書くことができる。 ・トピック・センテンスやサポーターティング・センテンスの構成を考え、つながりを示す語句を適切に用いながら、文章を書くことができる。 ・手紙や電子メールの書き方などの知識を身に付け、お互いに意思を伝え合うことができる。 ・事実と意見などを区別して、既習の表現を用いて書くことができる。 ・自分で書いた文章を読み直し、表現の曖昧さをなくしたり、語句や文法などの誤りを正したりして、読み手に分かりやすい文章を書くことができる。 ・うまく表現できないことがあっても、既習の語句や表現を用いて書くことができる。 ・必要に応じて英和辞書などを活用して書く。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事やニュースなどの情報に基づき、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・事実と意見などを区別して、既習の表現を効果的に用いて論理的に話すことができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。 ・既習の語句や表現、文法事項を活用して、間違うことを恐れずに、学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について 80 語程度の文章を書くことができる。 ・教科書の文章について、パートごとに、5～6 文程度の要約文を書くことができる。 ・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、80 語程度で感想や意見を書くことができる。 ・トピック・センテンスやサポーターティング・センテンスの構成を考え、つながりを示す語句を適切に用いながら、論理の展開が明確な文章を書くことができる。 ・手紙や電子メールの書き方などの知識を身に付け、意見交換したり、話をまとめたりすることができる。 ・事実と意見などを区別して、既習の表現を適切に用いて論理的に書くことができる。 ・自分で書いた文章を読み直し、表現の曖昧さをなくしたり、語句や文法などの誤りを正したりして、論点が明確で、読み手に分かりやすい文章を書くことができる。 ・うまく表現できないことがあっても、既習の語句や表現を効果的に用いて書くことができる。 ・必要に応じて英和辞書などを活用して書く。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。 |

教科：外国語 科目：コミュニケーション英語